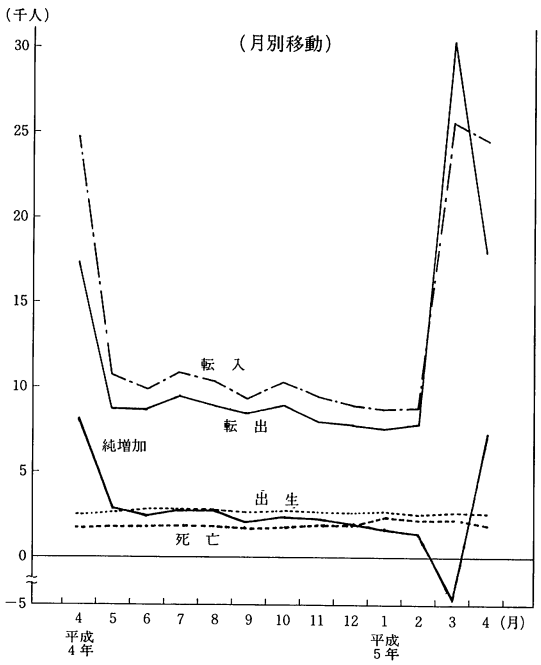
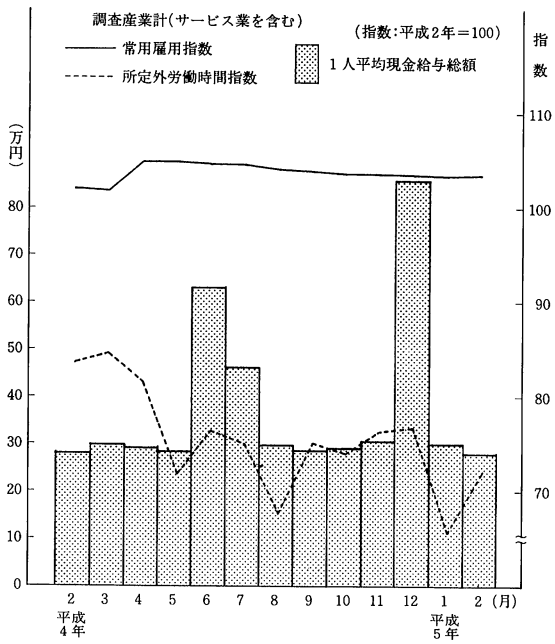
今月の主な動き

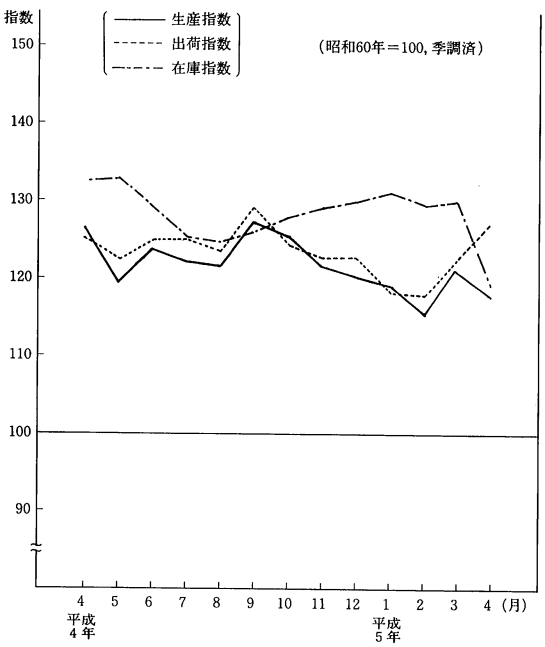
人　　口



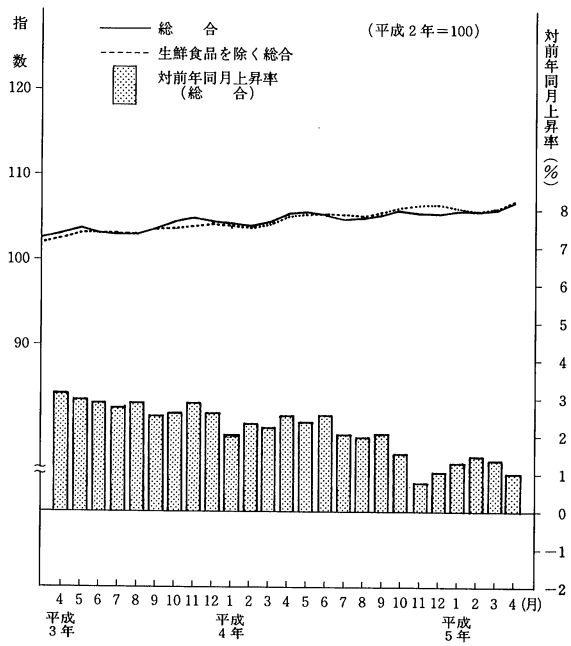
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……企画部統計課

■人　口（5月1日）

本県の人口は，4月中に7,132人増加し，5月1日現在で2,915,617人（男1,457,086人，女1,458,531人）となった。

内訳は，自然動態で610人（出生2,316人，死亡1,706人）増加し，社会動態で6,522人（転入24,317人，転出17,795人）増加した。前年同月と比べると22,650人（0.78%）の増加である。

市町村別では，増加が17市45町村，減少が3市20町村，増減なしが1町1村である。

世帯数についても4月中に7,705世帯増加し887,808世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（2月）

1．平均賃金の推移

2月の現金給与総額は，調査産業計で292,422円，対前年同月比3.0%増，このうち，きまって支給する給与は290,855円，対前年同月比3.0%増であった。また，このうち，所定内給与は263,532円，対前年同月比3.5%増であり，超過労働給与は27,323円，対前年同月比5.0%減であった。

なお，物価上昇分を差し引いた実質賃金は，対前年同月比2.1%増であった。

2．労働時間

2月の総実労働時間は，調査産業計で161.3時間，対前年同月比5.4%減であった。このうち，所定内労働時間は147.3時間，対前年同月比4.6%減，所定外労働時間は，14.0時間，対前年同月比13.5%減であった。

3．雇用の動き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，対前年同月比1.5%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお，事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（4月分）

本県における平成5年4月の“鉱工業指数”（昭和60年＝100）は，季節調整済指数で，生産が117.9，出荷が127.0，在庫が119.3で，前月比は，生産が△3.8%の低下，出荷が2.8%の上昇，在庫が△8.9%の低下であった。

前年同月比（原指数）は，生産が△6.2%の低下，出荷が1.2%の上昇，在庫が△9.8%の低下であった。

業種別に前月比をみると生産では，石油・石炭製品工業，化学工業，鉱業等が上昇し，輸送機械工業，電気機械工業，食料品・たばこ工業等が低下した。出荷では，石油・石炭製品工業，化学工業，一般機械工業等が上昇し，輸送機械工業，電気機械工業，非鉄金属工業等が低下した。在庫では，輸送機械工業，非鉄金属工業，繊維工業等が上昇し，食料品・たばこ工業，石油・石炭製品工業，鉱業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では，その他用生産財，耐久消費財等が上昇し，資本財，非耐久消費財等が低下した。出荷では，その他用生産財，耐久消費財等が上昇し，資本財，非耐久消費財が低下した。在庫では，その他用生産財，非耐久消費財等全てが低下した。

■消費者物価指数（4月）

平成5年4月の茨城県消費者物価指数（県平均）は，総合で106.6（平成2年＝100）となり，前月比0.7%の上昇，前年同月比1.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・下着6.7%，授業料等4.6%，衣料4.0%，野菜・海草2.7%，その他2.3%，魚介類1.5%

今月の下がった主な項目……果物4.1%，身の回り用品2.9%，乳卵類1.4%

生鮮食品を除く総合は106.9となり，前月比は0.7%の上昇，前年同月比は1.7%の上昇となった。

費目別指数　（平成2年＝100）

区分	指数	上昇率(%) 対前月	上昇率(%) 対前年同月	区分	指数	上昇率(%) 対前月	上昇率(%) 対前年同月
総合	106.6	0.7	1.0	保健医療	102.8	0.4	0.5
食料	106.4	0.3	△1.3	交通通信	100.5	△0.1	0.6
住居	112.1	0.7	4.2	教育	109.8	3.5	3.8
光熱・水道	103.2	0.0	0.3	教養娯楽	109.0	0.3	1.7
家具・家事用品	101.7	0.4	0.7	諸雑費	104.1	△0.6	1.1
被服及び履物	110.0	3.9	3.2	生鮮食品を除く総合	106.9	0.7	1.7